

令和5年度 総務常任委員会行政視察報告書

- 1 日 程 令和5年5月30日（火）～6月1日（木）
- 2 視 察 先 神奈川県川崎市、京都府京都市、岡山県岡山市
- 3 調査事項

川崎市

（1）民間提案制度について

民間事業者からの提案を受け付け、地域課題の解決や豊かな市民生活を実現させるためにチャレンジングな取り組みを推進している。自由な提案を受け付ける自由提案方式と、市がアイデアを求めたい分野への提案を募集する提案募集方式の二つの方法で提案を受け付けている。

については、本市における官民連携施策の参考とするため、これらの取り組みの現状等について調査した。

京都市

（1）市民防災センターでの防災教育について

地域ぐるみの自主防災体制を構築するため、自主防災会などの参加者に疑似体験を主とした市民防災体験を通じて、防災に関する知識の習得や災害発生時の備えの重要性を確認してもらう取り組みを行っている。

については、本市における市民の防災意識の醸成の参考とするため、これらの取り組みの現状等について調査した。

岡山市

（1）外部専門人材「戦略マネージャー」の活用について

地方創生の実現に向けて取り組む中で、既存の行政の考え方にとらわれない柔軟な発想や、高い専門性等をもって民間企業の最前線で活躍する外部人材を積極的に活用している。

については、本市における副業、兼業人材の活用の参考とするため、これらの取り組みの現状等について調査した。

4 視察委員

委員長	小 淵 一 明	副委員長	宮 崎 裕紀子
委員	佐 藤 祥 平	委員	近 藤 好 枝
同	高 橋 照 代	同	中 林 章
同	三 森 和 也	同	金 井 清 一
同	横 山 勝 彦		